

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	社会調査法		
英文授業科目名	Lecture on Sociological Research and Socio-statistics		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	氏家 豊		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ujjie@hc.uec.ac.jp	http://wwwsoc.nii.ac.jp/japor/

【主題および達成目標】
(a) 主題：社会調査の概要、ならびに社会調査の実施要領および調査結果の分析等について「世論調査」の場合を例にとり解説します。 (b) 達成目標：適切な調査を実施するための対象者の選び方、質問の仕方、調査結果の分析などについて学習します。

【前もって履修しておくべき科目】
特にありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特にありません。

【教科書等】
特に指定はありませんが、参考文献を適宜紹介します。また、必要な資料を配付します。

【授業内容とその進め方】

実際の調査書類、調査結果を用いて、社会調査の実施を意識しながら進めます。

なお、講義予定項目としては以下のとおりです。

1. 社会調査とは(さまざまな社会調査について概観し、世論調査の特徴を理解します。)
2. 調査設計の策定(目的に応じた調査方法、抽出方法を定め、調査項目を作成します。)
3. 標本抽出について(層化二段無作為抽出法を中心に各調査方法における抽出法を学びます。)
4. 調査書類(調査に必要な書類を確認し、調査票作成における注意事項を学びます。)
5. フィールドワーク(調査方法に応じたフィールドワークの実態について説明します。)
6. 調査の精度(標本誤差と非標本誤差について実例をもとに学習します。)
7. 集計・分析・報告書の作成(集計の手順と調査結果の分析について学び、報告書作成の要領を習得します。)
8. 調査の現状(調査の質の確保、回収率の低下、個人情報保護などに関する現況を説明します。)

授業時間外の学習(予習・復習等)について:

次回の授業のために必要な予習事項については授業の最後に伝えます。講義のよりよい理解のために予習してください。

また、講義内容、関連資料については授業の終わりにプリントを配布しますので復習してください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

調査企画の立案、標本抽出法と調査方法についての説明、ならびに適切な調査結果の分析ができることを目標にします。いずれも授業で講義する内容です。期末試験と随時のレポートで評価します。

【オフィスアワー：授業相談】

金曜日の10:00～12:00 13:00～14:00

他にも適宜相談に応じますが、電話やメールなどで事前にアポイントを取ってください。

【学生へのメッセージ】

多様な社会調査がどのように行われているのかを学び、また、社会調査を通して人や社会について知ること、考えることの眼を養ってください。

【その他】

できるだけ皆さんと対話しながら進めていきたいと思えます。